



令和2年度 【2月号】
上之郷中学校だより

《学校の教育目標》
自ら求め鍛え合う



【特集】1 実りの“冬”
【特集】2 スキー研修

消防署から感謝状をいただきました

消防署から感謝状をいただきました

こうして地域がひとつに

少し前の話になりますが、朝の登校時間帯に学校の近くでぼや(小火)がありました。現場には、誰もいません。炎は3m以上の高さまで燃え上がっています。

そのとき、近くにいた職員と12名の生徒で消火にあたり、火事を未然に防ぐことができました。

職員は、水をかけ、生徒たちは学校からバケツなどに水を入れて現場まで運びました。

指示を出したわけではないのに、自分から入れ物を捜し、両手にあふれんばかりの水を満たし、濡れながら運ぶ生徒たち。

その様子を見られた地域の方

は、消防署にお願いをされました。“ぜひ学校に感謝状を”と。

何て素晴らしい生徒たち、素晴らしい地域なのでしょう。

こうやって互いに自分の力を地域のために役立てながら、学校を核に、地域がひとつになっていく。上之郷。素敵なまちです。



特集

実りの“冬”

学校を拠点に 地域も輝く

本校の PTA 活動に文部科学大臣表彰を、3つの資質・能力を高める学校の取組に時事通信社教育奨励賞をいただきました。また、消防署と御嵩町から消火に対する感謝状をいただきました。

本校は、地域とともにある学校を目指し、様々な学習活動を行ってきました。それが、こういう形で成果として表れたわけです。

「上之郷中学校は、学校を拠点として地域も学校も輝いていくという学校づくりがなされています。これからの変化の激しい時代にあって、こういう取組は県内各地に広めていきたいモデルとなるものです。」

教育奨励賞の授賞式で県教育委員会服部教育主管様がおっしゃったこの言葉は、まさに私たちが目指していたもの。これからも、地域とともにある学校を目指していきます。

生徒全員が大切にされている

12月に全校生徒と全保護者を対象として学校教育アンケートを実施しました。その結果、本校が大切にしている3つの資質・能力(人間関係力・表現力・主体性)については、生徒・保護者ともに評価をいただいている反面、学校での学びと家庭での学びをつなぐことに対しては、課題があることがわかりました。

3つの資質・能力で高い評価

本校では、昨年度まで学期単位で行っていた教育相談関係のアンケート調査を今年度から毎月実施し、それをもとにしながら担任・養護教諭・スクールカウンセラーと相談できるようにしています。このことで、生徒は気軽に悩みに耳を傾けてもらえる環境が整えられ、定期的な教育相談以外にも相談に訪れることが見られるようになってきました。

また、朝の会や帰りの会に、人間関係力を高めるエンカウンター的な要素を取り入れるなど、誰一人悲しい思いをさせない学校づくりを中核に据えて取り組んできました。それが、生徒全員「自分は大切にされている」と思えることにつながっているととらえています。

各教科の授業では、ソーシャルディス

タンスに配慮しながら、話し合い活動を生徒が主体となって進められるようにしています。

こうした営みを通して、「勉強が難しくなるにつれて、教え合いをすることが増え、協力して解決策を見つけ、問題を解決することができた。」「どんどん意見がつけられるようになり、今までより授業が楽しくなってきた。」といった生徒の声が届くようになってきました。

本校では、授業以外でも話し合いのできる学校を目指してきました。生徒たちは、頭を働かせ、自分の思いを伝え合い、コロナで制約がある中でも、最高のものを生み出してきました。こうした自分たちの頑張りが、昨年度より成長した自分を感じるにつながっています。



時事通信社
「教育奨励賞」とは…

全国にあるすべての校
園（幼保小中高までのすべて
の学校・園）が選考対象。そ
の中から各都道府県や政令
市の教育委員会が推薦した
代表校がエントリーし、一
次審査を経て、教育分野の
専門家らによる審査委員
会で選考されるもの。

本校は、町教委・県教委
の推薦を受けて岐阜県代表
としてエントリーし、全国で
四番目。地域連携部門では
全国で二番目（二位・三位
は情報教育部門指定で、地
域連携部門は二位・三位は
ない）に位置する優良賞を
受賞した。岐阜県代表の学
校・園が優良賞以上の賞を
受賞するのは、十四年ぶり
の快挙。
なお、今回受け取った奨
励金（十万円）は、本校の情
報通信機器整備に使わせて
いただきます。

ると実感

学校教育アンケート結果から

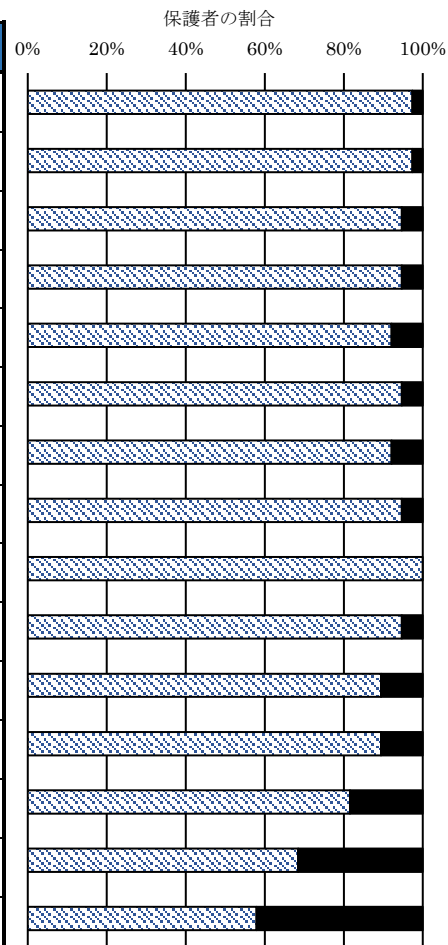
学びをつなぐことに弱さ

本年度、コロナによる休業期間があり、学校では、学校での学びと家庭での学びをつなぐことに力点を置いてきました。しかし、なかなか定着しないようです。

生徒たちは、具体的な宿題や課題を出せば取り組めるものの、授業で獲得した知識や技能を家庭で主体的に広げたり深めたりする学びや、自ら課題を見つけ解決しようとする学びに弱さを感じられます。

学校では、1時間の終わりに、自らの学びを振り返るまとめの時間を取るようにしています。そこでは、授業の冒頭で示した課題や目指す姿と照らし合わせ、その時間に新たに獲得した知識・技能は何か、どこで変化したのか、さらにやってみたいことは何かを考えるようにしていますが、これがあまり有効に作用していないことが原因であろうと考えています。次年度に向けこの部分の改善を図っていきます。

設問(生徒向け)	生徒
学校は、あなたを大切にして指導を行っている。	100.0
学校は、いじめや暴力(言葉による暴力を含む)等を見逃さず指導している。	100.0
あなたは、以前に比べると自分の思いを仲間に伝える力が高まったと感じている。	100.0
学校は、生徒が主体となる授業を行っている。	100.0
学校は、学校がより、HPで、学校や生徒の様子をわかりやすく伝えている。	100.0
学校は、話し合いや教え合いを大切にした授業を行っている。	97.4
あなたは、学習や活動を通して、昨年より成長したと感じている。	97.4
あなたは、家庭や地域で切磋している。	94.9
学校は、必要な感染症対策を行っている。	94.9
あなたは、先生と話しやすいと感じている。	92.3
あなたは、学校生活を楽しく感じている。	89.7
あなたは、宿題や課題を忘れずにやっている。	87.2
あなたは、手洗いを30秒以上の時間をかけて行うなど、感染防止を意識した生活をしている。	87.2
あなたは、毎日規則正しい生活をしている。	79.5
あなたは、宿題以外に予習や復習などの家庭学習に取り組んでいる。	76.9



表は、学校教育アンケートの結果で、生徒の数値の高いものから順に並び替えたものです。数値は、◎(とてもあてはまる)、○(あてはまる)と回答をしていただいた方の割合を示しています。グラフは、保護者の割合を示したもので、斜線が◎○と回答いただいた方の割合。